



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社椿本チエイン 上場取引所 東
 コード番号 6371 URL <https://www.tsubakimoto.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大原 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 西田 努 (TEL) 06-6441-0054
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	193,399	△14.6	8,896	△44.9	11,026	△34.0	8,706	△24.8
2020年3月期	226,423	△5.1	16,146	△25.9	16,698	△22.8	11,576	△16.0

(注) 包括利益 2021年3月期 14,822百万円 (76.0%) 2020年3月期 8,423百万円 (△19.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	235.23	—	4.8	3.7	4.6
2020年3月期	308.71	—	6.7	5.6	7.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 47百万円 2020年3月期 44百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	307,332	187,494	60.5	5,019.35
2020年3月期	294,098	176,055	59.3	4,711.34

(参考) 自己資本 2021年3月期 185,791百万円 2020年3月期 174,360百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	27,890	△9,560	△4,354	46,084
2020年3月期	20,275	△14,241	△10,385	31,378

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00	4,491	38.9	2.6
2021年3月期	—	30.00	—	45.00	75.00	2,776	31.9	1.5
2022年3月期(予想)	—	50.00	—	60.00	110.00		32.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	107,000	20.9	7,000	130.1	7,700	93.3	6,000	94.2	162.10
通期	225,000	16.3	16,000	79.8	17,000	54.2	12,500	43.6	337.70

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	38,281,393株	2020年3月期	38,281,393株
② 期末自己株式数	2021年3月期	1,266,367株	2020年3月期	1,272,780株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	37,013,807株	2020年3月期	37,499,382株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	87,196	△13.8	2,130	△61.0	7,294	△35.0	6,005	△22.1
2020年3月期	101,151	△6.9	5,466	△36.0	11,229	△19.6	7,704	△29.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	162.25		—					
2020年3月期	205.47		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	215,949		125,350		58.0	3,386.47		
2020年3月期	207,509		118,546		57.1	3,203.23		

(参考) 自己資本 2021年3月期 125,350百万円 2020年3月期 118,546百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提になる仮定等については、添付資料4ページからの「1. 経営成績等の概況（4）次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 次期の見通し	P. 4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
(追加情報)	P. 13
(セグメント情報等)	P. 13
(1株当たり情報)	P. 18
(重要な後発事象)	P. 18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)における当社グループの事業環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により、海外においては様々な国や地域で都市封鎖(ロックダウン)が実施されるなど、世界的に景気が減速しました。わが国においても、緊急事態宣言の発出に伴う活動の自粛や個人消費の減少などにより、景気が大幅に悪化しました。海外のロックダウンや国内の緊急事態宣言の解除後は、新型コロナウイルスの感染再拡大により先行き不透明感が強まるなど予断を許さない状況が続いたものの、各国の経済対策などを下支えに、国内外とも景気は概ね回復基調となりました。

このような状況のもと、当連結会計年度の受注高は1,898億75百万円(前期比17.2%減)、売上高は1,933億99百万円(同14.6%減)となりました。

損益につきましては、営業利益は88億96百万円(同44.9%減)、経常利益は110億26百万円(同34.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は87億6百万円(同24.8%減)となりました。

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、引き続き市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組み、持続的成長力および収益力を強化していきます。

なお、セグメント別の概況は次のとおりであります。

当社グループの全ての報告セグメントが、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けました。

[チェーン]

チェーンにつきましては、下半期以降は業績の回復が顕著となったものの、上半期における新型コロナウイルス感染症流行の影響が大きく、日本、米州、欧州などの地域で販売が減少したことなどから、前期比で減収となりました。

以上により、チェーンの受注高は615億29百万円(前期比5.4%減)、売上高は597億8百万円(同8.9%減)、営業利益は78億62百万円(同6.5%減)となりました。

[精機]

精機につきましては、業績は回復基調で推移したものの、日本、米州、欧州、中国、タイにおいて販売が減少したことなどから、前期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は192億90百万円(前期比14.9%減)、売上高は193億92百万円(同16.7%減)、営業利益は8億16百万円(同62.7%減)となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、四半期ごとに業績が回復し、中国においてエンジン用タイミングチェーンシステムの販売が増加したものの、上半期における新型コロナウイルス感染症流行の影響が大きく、日本、米州、欧州、タイ、韓国の拠点において同商品などの販売が減少したことなどから、前期比で減収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は577億87百万円(前期比18.5%減)、売上高は577億77百万円(同18.6%減)、営業利益は37億14百万円(同35.9%減)となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内において自動車業界向けシステムの売上が増加しましたが、日本国内における物流業界向けシステムや新聞印刷工場向けシステム、金属切り屑搬送・クーラント処理装置の販売が減少したことなどから、前期比で減収となりました。

以上により、マテハンの受注高は482億56百万円(前期比29.0%減)、売上高は532億79百万円(同16.6%減)となりました。損益につきましては、米州における自動車業界向けシステムの工事費用が増加したことなどにより22億2百万円の営業損失(前期は6億47百万円の営業利益)となりました。

[その他]

その他の受注高は30億12百万円（前期比7.2%増）、売上高は32億41百万円（同16.9%増）、損益については3億30百万円の営業損失（前期は20百万円の営業利益）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

資産は、償却などにより有形固定資産が35億19百万円減少したこと、対象期間売上減少により受取手形及び売掛金が18億83百万円減少した一方で、現金及び預金が128億49百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などにより投資有価証券が62億82百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して132億34百万円増加し、3,073億32百万円となりました。

（負債）

負債は、営業外電子記録債務が9億78百万円減少したこと、電子記録債務が8億64百万円減少したこと、未払法人税等が5億17百万円減少したこと、借入金が3億41百万円減少した一方で、未払費用や前受金の増加によりその他の流動負債が27億60百万円増加したこと、繰延税金負債が20億89百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して17億95百万円増加し、1,198億38百万円となりました。

（純資産）

純資産は、利益剰余金が53億69百万円増加したこと、保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が42億84百万円増加したこと、為替の変動により為替換算調整勘定が16億49百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して114億38百万円増加し、1,874億94百万円となりました。また、自己資本比率は、1.2ポイント改善し、60.5%となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して147億6百万円増加し、460億84百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は278億90百万円となりました。これは、法人税等の支払に38億10百万円支出した一方で、減価償却費を126億82百万円計上したこと、税金等調整前当期純利益を121億59百万円計上したこと、たな卸資産が25億96百万円減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は95億60百万円となりました。これは、自動車部品生産設備等への設備投資代金の決済などに97億23百万円支出したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は43億54百万円となりました。これは、配当金の支払に34億円支出したこと、借入金が4億74百万円減少したことなどによるものであります。

(4) 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、国内外とも景気は回復基調で推移すると予想しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大が続いている地域もあり、先行きの不透明感は依然として残っております。このような状況のもと、当社グループは、引き続き事業体制を強化するとともに、安全・品質の向上に取り組み、持続的成長へとつながる基盤を構築していく所存です。

以上により、2022年3月期の連結業績見通しは次のとおりです。

売上高	2,250億円（前期比16.3%増）
営業利益	160億円（前期比79.8%増）
経常利益	170億円（前期比54.2%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	125億円（前期比43.6%増）

2022年3月期（2021年度）の主な為替レートは、1米ドル=107円、1ユーロ=130円を前提としております。

上記見通しは、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、これら業績見通しと異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けております。

利益の配分に当たっては、株主重視の経営を目指す観点から、連結業績を反映した配当を基本方針とし、資金の状況、財務の状況等を総合的に勘案しながら連結配当性向30%を基準とした利益配分を目指しております。

上記の方針に基づいて、当期の期末配当金につきましては、株主の皆様への利益還元を重視し、1株当たり45円を予定しております。これにより年間配当金は、中間配当（1株当たり30円）とあわせて、1株当たり75円となります。

また、内部留保資金につきましては、財務体質の強化、将来の事業展開等に充当させていただく予定です。

次期の配当金につきましては、上記の方針に則り中間50円、期末60円とし、年間110円の配当を実施する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を採用しており、当面はIFRS（国際財務報告基準）の適用を予定しておりませんが、今後の会計基準の動向等を勘案し対応を検討してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,019	41,869
受取手形及び売掛金	45,699	43,816
電子記録債権	11,346	11,561
有価証券	3,965	6,189
商品及び製品	18,369	17,469
仕掛品	12,268	11,674
原材料及び貯蔵品	9,639	9,245
その他	4,547	4,226
貸倒引当金	△773	△865
流動資産合計	134,083	145,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	75,917	77,488
減価償却累計額	△43,671	△45,659
建物及び構築物（純額）	32,246	31,828
機械装置及び運搬具	129,905	135,869
減価償却累計額	△90,923	△97,780
機械装置及び運搬具（純額）	38,982	38,089
工具、器具及び備品	30,562	30,112
減価償却累計額	△25,949	△26,175
工具、器具及び備品（純額）	4,613	3,936
土地	37,513	37,543
建設仮勘定	5,224	3,660
有形固定資産合計	118,579	115,059
無形固定資産		
のれん	2,773	2,533
その他	8,587	8,162
無形固定資産合計	11,361	10,695
投資その他の資産		
投資有価証券	22,240	28,522
長期貸付金	12	11
繰延税金資産	2,038	2,048
その他	5,903	5,923
貸倒引当金	△119	△113
投資その他の資産合計	30,074	36,391
固定資産合計	160,015	162,147
資産合計	294,098	307,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,374	16,882
電子記録債務	9,656	8,791
短期借入金	12,893	11,318
1年内返済予定の長期借入金	4,246	634
リース債務	381	404
未払法人税等	1,696	1,178
未払消費税等	487	763
賞与引当金	3,952	3,794
工事損失引当金	249	293
受注損失引当金	367	38
株主優待引当金	—	32
営業外電子記録債務	1,976	998
その他	13,798	16,558
流動負債合計	67,081	61,690
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	9,369	14,214
リース債務	575	633
繰延税金負債	6,085	8,175
再評価に係る繰延税金負債	5,001	5,001
役員退職慰労引当金	117	124
退職給付に係る負債	13,529	13,863
資産除去債務	430	457
その他	850	676
固定負債合計	50,961	58,147
負債合計	118,043	119,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	13,563	13,565
利益剰余金	149,487	154,856
自己株式	△4,253	△4,231
株主資本合計	175,873	181,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,551	12,836
繰延ヘッジ損益	17	△76
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	1,178	2,828
退職給付に係る調整累計額	△647	△449
その他の包括利益累計額合計	△1,513	4,524
非支配株主持分	1,695	1,703
純資産合計	176,055	187,494
負債純資産合計	294,098	307,332

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	226,423	193,399
売上原価	166,158	145,764
売上総利益	60,264	47,634
販売費及び一般管理費	44,118	38,737
営業利益	16,146	8,896
営業外収益		
受取利息	152	129
受取配当金	1,010	775
持分法による投資利益	44	47
為替差益	—	378
雇用調整助成金	—	557
その他	711	1,377
営業外収益合計	1,918	3,265
営業外費用		
支払利息	381	320
為替差損	304	—
デリバティブ評価損	13	241
その他	667	573
営業外費用合計	1,366	1,136
経常利益	16,698	11,026
特別利益		
退職給付制度改定益	533	—
受取保険金	—	870
固定資産売却益	—	314
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	533	1,190
特別損失		
減損損失	419	—
投資有価証券売却損	2	—
事業再編損	—	57
特別損失合計	422	57
税金等調整前当期純利益	16,809	12,159
法人税、住民税及び事業税	4,853	3,295
法人税等調整額	269	81
法人税等合計	5,123	3,377
当期純利益	11,686	8,782
非支配株主に帰属する当期純利益	109	75
親会社株主に帰属する当期純利益	11,576	8,706

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	11,686	8,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,272	4,284
繰延ヘッジ損益	29	△94
為替換算調整勘定	△2,142	1,646
退職給付に係る調整額	132	198
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	4
その他の包括利益合計	△3,262	6,040
包括利益	8,423	14,822
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,359	14,745
非支配株主に係る包括利益	64	77

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,076	13,559	142,442	△1,047	172,030
会計方針の変更による累積的影響額			14		14
会計方針の変更を反映した当期首残高	17,076	13,559	142,456	△1,047	172,045
当期変動額					
剰余金の配当			△4,541		△4,541
親会社株主に帰属する当期純利益			11,576		11,576
自己株式の取得				△3,206	△3,206
自己株式の処分		0		0	0
利益剰余金から資本剰余金への振替		4	△4		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4	7,030	△3,205	3,828
当期末残高	17,076	13,563	149,487	△4,253	175,873

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	9,824	△11	△10,614	3,285	△780	1,703	1,720	175,454
会計方針の変更による累積的影響額						—		14
会計方針の変更を反映した当期首残高	9,824	△11	△10,614	3,285	△780	1,703	1,720	175,468
当期変動額								
剰余金の配当						—		△4,541
親会社株主に帰属する当期純利益						—		11,576
自己株式の取得						—		△3,206
自己株式の処分						—		0
利益剰余金から資本剰余金への振替						—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,272	29	—	△2,107	133	△3,217	△24	△3,241
当期変動額合計	△1,272	29	—	△2,107	133	△3,217	△24	587
当期末残高	8,551	17	△10,614	1,178	△647	△1,513	1,695	176,055

当連結会計年度(自 2020年4月1日至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,076	13,563	149,487	△4,253	175,873
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	17,076	13,563	149,487	△4,253	175,873
当期変動額					
剰余金の配当			△3,330		△3,330
親会社株主に帰属する当期純利益			8,706		8,706
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分		△5		25	19
利益剰余金から資本剰余金への振替		6	△6		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	5,369	22	5,392
当期末残高	17,076	13,565	154,856	△4,231	181,266

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,551	17	△10,614	1,178	△647	△1,513	1,695	176,055
会計方針の変更による累積的影響額						—		—
会計方針の変更を反映した当期首残高	8,551	17	△10,614	1,178	△647	△1,513	1,695	176,055
当期変動額								
剰余金の配当						—		△3,330
親会社株主に帰属する当期純利益						—		8,706
自己株式の取得						—		△3
自己株式の処分						—		19
利益剰余金から資本剰余金への振替						—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,284	△94	—	1,649	198	6,038	7	6,046
当期変動額合計	4,284	△94	—	1,649	198	6,038	7	11,438
当期末残高	12,836	△76	△10,614	2,828	△449	4,524	1,703	187,494

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16,809	12,159
減価償却費	12,739	12,682
減損損失	419	—
事業再編損	—	57
のれん償却額	181	277
固定資産除売却損益 (△は益)	47	△311
投資有価証券評価損益 (△は益)	56	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	△5
関係会社株式評価損	—	52
関係会社出資金評価損	25	4
雇用調整助成金	—	△557
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	380	64
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△135	597
売上債権の増減額 (△は増加)	2,233	2,114
たな卸資産の増減額 (△は増加)	884	2,596
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,435	△1,567
その他	△2,598	2,353
小計	24,610	30,517
利息及び配当金の受取額	1,167	950
利息の支払額	△413	△324
雇用調整助成金の受取額	—	557
法人税等の支払額	△5,089	△3,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,275	27,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△123	△543
定期預金の払戻による収入	166	187
投資有価証券の取得による支出	△15	△252
投資有価証券の売却及び償還による収入	215	166
関係会社株式の取得による支出	—	△76
関係会社出資金の払込による支出	—	△10
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	7	1
長期貸付けによる支出	△23	△20
長期貸付金の回収による収入	21	21
固定資産の取得による支出	△14,661	△9,723
固定資産の売却による収入	171	689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,241	△9,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	376	△1,687
長期借入れによる収入	8,495	5,452
長期借入金の返済による支出	△893	△4,239
社債の償還による支出	△10,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△521	△469
割賦債務の返済による支出	△6	△6
配当金の支払額	△4,541	△3,330
非支配株主への配当金の支払額	△88	△69
自己株式の取得による支出	△3,206	△3
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,385	△4,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	△358	730
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,708	14,706
現金及び現金同等物の期首残高	36,087	31,378
現金及び現金同等物の期末残高	31,378	46,084

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を予測することが依然困難な状況ではありますが、一部の需要は回復傾向にあることなど現時点で入手可能な情報を基に重要な会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は不確実性が大きく、経営環境が変化した場合には、見積りの内容と事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業グループ体制を敷き、それぞれの事業グループごとに国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の報告セグメントは「チェーン」、「精機」、「自動車部品」、「マテハン」の4セグメントであります。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
チェーン	ドライブチェーン、小形コンベヤチェーン、大形コンベヤチェーン、トップチェーン、スプロケット、タイミングベルト、タイミングプーリ、ケーブル・ホース支持案内装置 他
精機	減速機、直線作動機、軸継手、締結具、クラッチ、電気式制御機器、機械式保護機器、モジュール 他
自動車部品	エンジン用タイミングチェーンシステム（カム駆動、補機駆動等）、トランスファー用チェーン、トランスミッション系オイルポンプ駆動チェーン 他
マテハン	物流業界向けシステム、ライフサイエンス分野向けシステム、新聞印刷工場向けシステム、自動車業界向けシステム、その他搬送・仕分け・保管システム、粉粒体搬送コンベヤ、金属切り屑搬送・クーラント処理装置、メンテナンス 他

2 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高および振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財 務諸表 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	65,571	23,269	70,949	63,860	223,650	2,772	226,423	—	226,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,955	543	—	352	2,851	770	3,622	△3,622	—
計	67,526	23,813	70,949	64,212	226,502	3,542	230,045	△3,622	226,423
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	8,406	2,189	5,791	647	17,034	20	17,055	△909	16,146
セグメント資産	74,541	30,560	97,777	55,782	258,663	3,099	261,763	32,335	294,098
その他の項目									
減価償却費	2,984	1,036	6,975	1,719	12,715	23	12,739	—	12,739
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	329	329	—	329	—	329
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,220	1,244	8,535	1,371	14,372	16	14,388	—	14,388

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△909百万円には、セグメント間取引消去94百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,003百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- (2) セグメント資産の調整額32,335百万円には、セグメント間取引消去△903百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産33,238百万円が含まれております。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金ならびに投資有価証券であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財 務諸表 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	59,708	19,392	57,777	53,279	190,158	3,241	193,399	—	193,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,604	305	—	338	2,248	700	2,948	△2,948	—
計	61,312	19,697	57,777	53,618	192,406	3,941	196,348	△2,948	193,399
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	7,862	816	3,714	△2,202	10,190	△330	9,860	△963	8,896
セグメント資産	76,344	29,762	97,859	56,011	259,977	3,515	263,492	43,840	307,332
その他の項目									
減価償却費	2,912	1,128	6,910	1,649	12,600	81	12,682	—	12,682
持分法適用会社への 投資額	—	—	—	345	345	—	345	—	345
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,422	1,158	3,364	1,275	8,219	70	8,290	—	8,290

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△963百万円には、セグメント間取引消去51百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,014百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
- (2) セグメント資産の調整額43,840百万円には、セグメント間取引消去△868百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産44,709百万円が含まれております。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金ならびに投資有価証券であります。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	環インド洋	中国	韓国・台湾	その他	合計
96,526	52,356	24,969	16,343	17,341	9,179	9,704	226,423

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	環インド洋	中国	韓国・台湾	その他	合計
77,473	17,391	5,588	4,032	8,283	4,158	1,651	118,579

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
椿本興業株式会社	26,273	チェーン、精機、自動車部品、マテハン

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	環インド洋	中国	韓国・台湾	その他	合計
83,704	44,754	19,413	12,588	17,316	7,847	7,775	193,399

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	米国	欧州	環インド洋	中国	韓国・台湾	その他	合計
76,302	16,452	5,824	3,413	7,510	3,996	1,559	115,059

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
椿本興業株式会社	23,728	チェーン、精機、自動車部品、マテハン

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	419	—	—	419

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	57	—	—	—	57

(注) 当該減損損失については、連結損益計算書上、事業再編損として表示しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額および未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他	全社・消去	合計
当期償却額	27	—	—	153	—	—	181
当期末残高	13	—	—	2,759	—	—	2,773

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	その他	全社・消去	合計
当期償却額	13	—	—	263	—	—	277
当期末残高	—	—	—	2,533	—	—	2,533

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	4,711円34銭	5,019円35銭
1株当たり当期純利益金額	308円71銭	235円23銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	11,576	8,706
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	11,576	8,706
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,499	37,013

(重要な後発事象)

該当事項はありません。